西日本最大級の教育展示会「ＥＤＩＸ大阪」

10月13日から3日間開催

西日本最大級の教育展示会「ＥＤＩＸ大阪」が10月13日から3日間、大阪市北区のグランキューブ大阪で開催される。主催はＥＤＩＸ実行委員会で、事務局はＲＸＪａｐａｎ。約100社が出展予定で、関西を中心とした多くの教育関係者の来場を見込んでいる。

文部科学省、経済産業省、総務省、デジタル庁など教育関係の官公庁・機関が後援。パソコン、タブレット、電子黒板などのＩＣＴ機器、教材・コンテンツ、探究学習・ＳＴＥＡＭ教育など、教育の課題に寄り添った、さまざまな製品・サービスが展示され、その場で直接の相談、体験、導入が可能。「教育現場で活用できる製品を効率的にまとめて比較、検討できる」と事務局。

来場のメリットは①教育現場の悩みの解決につながるヒントがある②製品、サービスを体験でき、個別相談も可能③セミナーなどを通じて最新の教育事情が分かる―を挙げている。

一方の出展メリットは①西日本を中心とした教育関係者と出会える②教育業界での認知度アップ、ビジネス拡大が可能③導入意欲の高い見込み顧客と出会える―とした。

ＥＤＩＸは、展示会と併催して、業界の第一人者による30講演以上の専門セミナーを実施する。教育の最新トレンドや、今後の展望を解説する基調講演、特別講演のほか、児童参加型の公開授業を実施する。教育業界の今、未来を多角的なテーマで学ぶことができるという。

昨年、ＥＤＩＸ大阪に来場した市立小学校校長は、「デジタル化の推進と、教員の業務改善の課題解決のため参加し、教育関連企業とのつながりができた。地方の教育関係者こそ、こういう場を活用し情報収集、課題解決のヒントを探すべきだ」と話している。

昨年の出展風景

「姫路城だけじゃない」探究プログラム

京阪神からの良アクセスなど好評

姫路観光ＣＢ
ＳＤＧｓテーマに24件をラインアップ

世界文化遺産・国宝「姫路城」が国内外からの観光客を集める、兵庫県姫路市。同市と周辺の播磨エリアが、教育旅行の行き先として注目を集めている。京阪神からのアクセスの良さなどに加え、「姫路城だけじゃない」、多様なものづくり産業を背景にしたＳＤＧｓ探究プログラムをラインアップ。費用や時間の制約が多い学校でも、教育旅行ならではの豊かな学びを享受できるよう、サポートを行っている。

ＳＤＧｓ探究プログラムは、姫路観光コンベンションビューロー（姫路ＣＢ）が中心となり、姫路市と播磨エリアで25年度から開発、受け入れ態勢の整備、情報の一元的発信等を進めてきた。現在すでに24プログラムをラインアップ。今年度中には30プログラムの提供を予定する。

国内トップシェアを誇るマッチの製造・販売会社「日東社」（姫路市）では、ＳＤＧｓ学習内容として「マッチを通じて火に親しむ」を掲げる。マッチの作り方を学び、オリジナルのマッチづくりを体験できるだけでなく、近年マッチの消費量、生産量がともに減少する中で、組織や技術のイノベーションを進める同社の取り組みも学べる。

社寺建築の「神田組」（加西市）では、「木を見て、森を見る。」のＳＤＧｓテーマの下、木材や森林資源について学べる。姫路城の「平成の大修理」に携わった同社ならではの社寺建築における「木組み」などについて説明を受けられるほか、ノコギリやカンナ体験などができる。

このほか世界最先端の大型放射光施設「ＳＰｒｉｎｇ－８」（佐用町）での施設見学、姫路市の離島「家島」での島内フィールドワーク、特攻隊が編成された「鶉野飛行場跡」（加西市）でのピースツーリズムなど、学校が設定する課題や生徒の関心などに合わせ、さまざまなＳＤＧｓ探究学習を行うことができる。もちろん姫路城も、その保存に関わる技術や歴史的経緯など、教育旅行のコンテンツとして高い価値を持つ。18歳未満は無料なのも魅力だ。

またすべての探究プログラムで、現地学習だけでなく、事前学習と事後指導のための指導内容の提案や教材などを用意。旅マエから旅アトまでサポートすることで、より深い探究学習の実現を後押しする。

京阪神では近年、インバウンド客の集中などにより、宿泊費用の高騰だけでなく、観光・見学施設の混雑による学習環境確保の難しさや、交通混雑による移動面や時間面での制約が問題になってきた。だがいまだ、関西ならではの重層的な歴史遺産を訪れることを重視する学校も多い。その状況下で、比較的宿泊費を抑えることができ、なおかつ京阪神に近い姫路に宿泊して、姫路・播磨エリアでの探究学習と、人気のユニバーサル・スタジオ・ジャパンでの研修を組み合わせる学校も出てきており、好評という。

姫路市内には、食事会場として利用できる大型宴会場を持つ、ホテル日航姫路、ホテルモントレ姫路がある。姫路市内に宿泊する学校団体は、姫路城の開門30分前に優先入場できる特典もあり、混雑を避けて見学できる上、日程に余裕を持たせることも可能だ。

歴史と文化、自然に加え、伝統と最新のものづくりが共存する播磨エリアでの教育旅行を検討してみてはどうだろうか。

光洋製瓦での瓦制作体験

日東社での学習の様子

絵画で遊び、体験 アートに親しむ

トリックアート美術館

日本発祥の参加・体験型アート「トリックアート」。平面の絵が飛び出したり、角度により違う雰囲気の絵に見えたりする不思議なアートだ。栃木県・那須と東京・お台場、横浜・新港地区にあるトリックアートの常設館は、作品を見るだけでなく、写真に撮ったり、自由に触れたりとさまざまな体験ができる。思い出づくりとともに、芸術性を学び、発想力を養える体験・見学地と、中学や高校の修学旅行で人気を集めている。

「飛び出す鳥獣戯画」

東京・横浜 多くの人気作品を展示

「東京トリックアート迷宮館」は、江戸をテーマにした和風のトリックアートをはじめ、多くの人気作品を展示する体験型の美術館。東京屈指の観光スポットお台場にあり、一般客や修学旅行客で年中にぎわっている。

館内に入り、まず目にするのは「江戸エリア」。「華やかな江戸の彩」をコンセプトに、色彩豊かで親しみやすいモチーフの、和風の作品を数多く展示している。

「トリックいたずら日本画」と題して、大和絵浮世絵の名作をだまし絵にして展示。北斎の「神奈川沖浪裏」で来場者がサーフィンをしたり、「飛び出す鳥獣戯画」に入り込むなど、現実と絵が一体になったユニークな写真を撮れる。

「忍者屋敷エリア」では、「隠し扉」などさまざまな仕掛けがあり、その先にある「名作ギャラリー」では、トリックアートの過去の作品から最新作まで体験できる。

トリックアート美術館は学校の校外学習やグループワークにも利用され、生徒から仕事について取材を受けることも多い。

▽東京都港区台場1の6の1、デックス東京ビーチシーサイドモール4階。☎03（3599）5191。不定休で、午前11時から午後9時まで営業。入場料大人1200円、中学生以下800円。

◇　◇

横浜のみなとみらいや中心街に近い新港地区の複合施設「横浜ワールドポーターズ」に一昨年7月、「横浜トリックアート迷宮館」がオープンした。「時空を超えた旅」をテーマに、過去、現在、未来の世界を51点のトリックアートで表現。最新の錯覚やトリックを使って制作した作品は見て楽しむだけでなく、実際に動かすことで体験できる。

「仕組みを考えたり、表現方法を見て学ぶなど、生徒の感受性を高めて、美術に取り組むきっかけになってほしい」とスタッフは説明や体験サポートをしている。

▽横浜市中区新港2の2の1、横浜ワールドポーターズ4階。☎045（264）9240。不定休で、午前10時半から午後9時まで営業。入場料大人1300円、中学生以下900円。

体験館でアートの制作体験ができる

那須 三つのミュージアムに制作現場の見学、体験も

「那須とりっくあーとぴあ」（栃木県那須町）は、国内最大のトリックアートのテーマパークだ。テーマが異なる三つのミュージアムと、アート制作を見学できるアトリエ、見学者自身で制作体験ができる体験館を備える。

ミュージアムの一つ、「トリックアートの館」は、「子供の頃に憧れていた空想の世界」がテーマ。おとぎ話の世界を絵画で創り出し、光の演出によって、見る人を幻想的な空間に入り込んでもらう仕掛けだ。

「トリックアート迷宮？館」は、魔法の世界をトリックアートにより再現した館。立つ位置により2人の体の大きさが変わって見える「エイムズの部屋」など、体験型の作品が豊富。

「ミケランジェロ館」は、イタリアルネサンスの三大巨匠の名作をトリックアートで再現。「最後の晩餐（ばんさん）」や「システィーナ礼拝堂」は見る人を圧倒する。

ミケランジェロ館隣の「制作アトリエ」は、制作スタッフがトリックアートを実際に制作する場面を無料で見学できる。

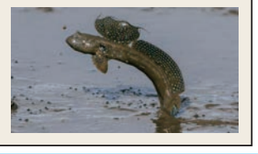
アート制作体験館「ホワイトスタジオ」は、絵付けや工作など、トリックアートの制作体験が可能だ（予約制）。1クラス（50人まで）が入れるスペースがあり、豊富な体験プログラムから選べる。

▽栃木県那須郡那須町高久甲5760。☎0287（62）8388。不定休で、午前9時半から午後5時まで営業（8月は午前9時から午後5時半まで）。入場料3館共通大人2900円、中学生以下2千円。

「紅葉に映える古城」

生きる力につながる 教育旅行は佐賀県

資料もたっぷり

A ミニガタリンピックコース 最大350名 90分～4時間	詳細	B 自由に遊ぶ干潟体験 最大200名 1時間～2時間
2,000円（2027年10月末まで）※29名以下の場合は1団体6万円	料金 1人当たり	小学生以上900円
約350人	最大人数	約200人
1時間半～4時間（人数により変動）	目安時間	約1時間～2時間
4月下旬～10月末（潮が引いてる時間）	実施時期	4月下旬～10月末（潮が引いてる時間）
潟タビ使用料 ガタスキー使用料 シャワー使用料 **メダル・表彰状** **設営や司会進行進行等**	料金に含まれるもの	潟タビ使用料 ガタスキー使用料 シャワー使用料
体験の前に干潟を一望しながら有明海（干潟）についての紹介と説明があり、いよいよ「鹿島ガタリンピック」で実際に行っている次の競技3種目（運動会方式）にクラス別又は個人別でチャレンジ！上位入賞者には、鹿島ガタリンピック特製のメダルや表彰状が授与されます。 **スタッフが司会進行をするので安心！** ①～③の三種目の競技を行います。（賞状・メダル付き） ①ガタスキー競争 ②潟上綱引き ③ガタフライ競争	ポイント	潮が引いている時間で、自由に干潟を体験。29名以下でもリーズナブルに実施が可能です。せっかくの干潟でなにをしたいか、生徒自ら考え実行する楽しさがあります。泥の感触を楽しみながら、ムツゴロウなど干潟ならではの生き物を探してみるのもおすすめ！ 

鹿島市　**干潟交流館 なな海（み）**

有明海ならではの干潟に入り、自然と触れ合うことで、自然の恵みと環境保全について考える「干潟体験」。

干潟で体験できる「ミニガタリンピック」は、年間およそ1万人の参加者があり、特に教育旅行生に人気のプログラムです。泥んこになっても安心の設備で、心置きなく体験をお楽しみいただけます。

アクセス
福岡空港または
博多駅から約1時間40分（バス）
長崎市から約1時間15分（バス）
最寄り駅（肥前鹿島駅）から約12分（バス）

問合せ先
道の駅鹿島　干潟体験課
TEL：0954-60-5040

佐賀市
日本の近代化に貢献した幕末佐賀藩の取組から、先人たちの熱い想いを体感

佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館

日本赤十字社の父「佐野常民」や世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産「三重津海軍所跡」を学べる施設です。
原寸大模型や大型スクリーン映像で当時に想いを馳せ、施設展示や現地見学等で深い学びに。

アクセス
福岡空港または博多駅から約1時間30分（バス）
最寄り駅（佐賀駅）から約30分（バス）

問合せ先
佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館
TEL：0952-34-9455

佐賀市
日本の近代化を推進させた幕末の佐賀藩の歴史を学ぶ

佐賀城本丸歴史館

日本の近代化に貢献した「幕末維新期の佐賀」。その舞台となった佐賀城本丸御殿の一部を復元しています。変革の時代を生きた人々のエネルギーを体感でき、発見と驚きに満ち、楽しく、分かりやすい、親しみをもって学ぶことができる施設です。

アクセス
福岡空港または博多駅から約1時間20分（バス）
最寄駅（佐賀駅）から約15分（バス）
長崎市から約1時間40分（バス）

問合せ先
佐賀県立 佐賀城本丸歴史館
TEL：0952-41-7550

唐津市

海洋プラスチック問題を自分ごととして考える
世界海洋プラスチックプランニングセンター［PLA PLA］

海岸でのフィールドワーク、展示見学、再生ラボでのものづくり、ワークショップを通して、海とわたしたちの暮らしのつながりを体験的に学べます。

アクセス
福岡空港または博多駅から約1時間30分（バス）
長崎市から約2時間（バス）
最寄り駅（西唐津駅）から約30分（バス）

問合せ先
世界海洋プラスチックプランニングセンター
TEL：0955-53-8572

唐津市内及び玄海町

農村・漁村地域でのふれあい民泊体験

豊かな自然の中、ゆったりと各家庭での交流を楽しめることが特徴。安心安全への取り組みを強化し、サポート体制も充実しています。

アクセス
入村・退村式が「唐津市文化体育館」の場合
福岡空港または博多駅から約70分（バス）
長崎市から約1時間40分（バス）
最寄り駅（和多田駅）から約10分（バス）

問合せ先
NPO法人　唐津・玄海観光交流社
TEL：0955-82-2811

（一般社団法人）佐賀県文化観光連盟　TEL：0952-26-6754　URL：https://www.asobo-saga.jp/business/